

釧路南ロータリークラブ会報

第8回 例会報告 2009.8.28 通算1314回

・点

鐘

工藤会長

・会長挨拶

・ロタリーソング

「それでこそロータリー」



ソングリーダー 原田 眞則会員



皆様こんにちは

8月は会員増強および拡大月間です。

ロータリーの友8月号の中からジョン・ケニーRI会長は、会員増強は、今日、私達が直面している大きな課題であり、しかも、いろいろな意味で新鮮です。現在の世界的な経済情勢によって引き起こされた困難を否定する事は出来ません。

けれども、ヘンリーフォードの言葉を借りるなら「もしお金によって自立出来ると考えているなら、あなたは一生自立出来ないだろう。唯一本当の安定とは、この世で得た知識、経験、能力の蓄積である」と、言っております。

ですから、私達会員が良い仕事を続け、慎重に選んだ新会員を迎え入れることが、ロータリーにいる私達にとって欠かす事の出来ない保証なのです。そして、新会員が生涯にわたるロータリアンとなっていくのです。と、ジョン・ケニーRI会長より新会員を迎え入れるメッセージとして記事が載っていました。さらに、ロータリーの友8月号の16ページには、8月は会員増強および拡大月間 飛躍的な会員増強をめざしてということで、第2740地区 島原RC 高木義和地区幹事の手記より。日本のロータリアンの減少が止まらない。

「友」の集計資料によると、日本の会員数動向は、ピーク時の1996年11月末から2009年5月末現在までの間に35,804人の退会があり、残念にも13年間連続減少です。退会理由は死亡・転勤・社業不振など、幾多の原因がありますが、この現象傾

・入会記念祝

山本 美穂会員 H 19. 8. 31 (2年目)



・誕生祝

船戸 利二会員 S 7. 9. 3 (77歳)



向は社会情勢などから、まだまだ続く気配です。途中省略させていただきます。何事も何もしなければ何も動くことはありません。会員増強について専門家はいません。会員増強のスーパーマンなどもないのです。

ジョン・ケニー会長は、年間のテーマとして、「ロータリーの未来はあなたの手の手に」を提唱し、世界中のロータリアンにその将来を託しています。

私達は“yes we can!”と答える心意気で応じたいと願っています。私は常々自問自答しております。

あなたは、会員減少が13年連続して良いと考えていますか？

遠隔地という理由だけで優れた人、信頼出来る取引先などに、ロータリーを知らせなくてもよいですか？

多くの女性経営者の方にロータリーの魅力を伝える必要性はないのですか？

会員維持策や入会3年未満の会員のために何か出来るそうですか？

私達の会員増強の熱意温度計と関心温度計は100度に近づいていますか？

全国の会員の皆様、未来のロータリアン誕生のために手をつなぎませんか？

私達と心をつなぎませんか？なぜなら、ロータリーの未来は、私達一人一人の手の中にあるのですから。日本中のロータリアンの会員増強に、スイッチON!と、載っております。

新会員が生涯にわたり「未来につながるロータリアン」と、なっていく事を願い南ロータリークラブも会員増強を頑張りましょう。

・幹事報告



* 旭川RCより創立75周年記念式典・祝賀会のご案内を拝受しております。

* ガバナー事務所よりクラブからのガバナーノミニの提案の文書、来年6月のカナダモントリオールの2010年RI国際大会のホームページ立ち上げの案内を拝受しております。

* 2008年ガバナー事務所より地区決算報告書を拝受。

* 別海RCより9月のプログラムと会報を拝受しております。

* 9月のプログラムが変更となっております。

・委員会報告

親睦委員会

・本日のニコニコ献金

山本 美穂会員 入会記念祝として

船戸 和仁会員 誕生祝として

出席委員会

会員25名16名出席メイキャップ0名 64%

・本日のプログラム

「会員卓話」

担当 新世代委員会

花田 善廣会員



私の近況を話させていただきます。

一昨年あたりから、仕事以外のことをする余裕が

なくなっています。地区の財団委員会やWCSで9月にもRI3330地区へマッチンググラントの経過を視察に行こうと誘われていましたが、日程の都合がつかないと断りました。

今、追われている仕事の話をして頂きます。経済状況が良くないので、新築物件は極端に少なくなっています、皆さんも耳にしたことがあると思います「耐震診断」が私の仕事の全てと言って良いくらいです。「耐震診断」は平成7年の阪神淡路大震災の年に「建築物の耐震改修の促進に関する法律」として施行されたことにより、学校や店舗など多数の人が利用する施設に義務付けられました。

それがこの数年の間に急に耐震診断が増えてきたのは、中国の山東雀地震で学校が崩壊してたくさんの犠牲者が出て、国内でも岩手内陸の地震でも多くの被害が出ました。それでこの数年、急に公共の建物学校や公営住宅などを耐震診断するようになりました。ただ耐震診断をできる構造設計者が全国的にも不足していますので、ほとんどが遅れています。最近も補正予算が出るからと自治体から学校の耐震診断をと話がありますが、これ以上仕事を受けられ体が持たないと辞退しています。

本当は10年以上前から決まっていた法律ですから、少しずつ進めていけば良かったのですが、各自治体の厳しい経済事情もあったせい、今まで手つかずだったのが実態と思います。

私ができることは、今ある仕事をひとつずつ片付けていくことだけです。

原田 眞則会員



来月9月6日に当社は創業80周年を迎えますので、そのことについて話させていただきます。

(株)阿部新聞店は、昭和4年9月6日に創業して80

年。私が入社したのは、37年前の昭和47年です。今思えば、37年間ずっと同じ仕事をさせていただいて、大変は大変だったのですが、一度もこの仕事を「嫌だ」と思ったことはないの、幸せだと感じています。

当時(昭和47年)は水産も含め、大変景気のいい時であり、私は学校を終わってすぐこちらに来たのですが、配達員が足りなかったり、当時の配達員は学生ばかりでしたので、急な休みを補うため配達業務も毎日のようにしておりました。

景気の良さもあり、その当時は部数も伸びていたのですが、ここ10年くらいは完全に斜陽産業になってしまいました。

社長になって今年で5年になりますが、私が今年還暦になりますので、あと5年くらいで良い形で後進にバトンタッチしていければと思っております。

現在、社員は35名おり、やる気のある若い社員も多くおりますので、新聞が売れなくなっている今、まずは創業100年を目指し、色々な方法で売り上げを増やす方策を行っているところでありますし、地域に根差して、ますます信用・信頼される会社として邁進していく所存ですので、これからも阿部新聞店を宜しくお願い致します。



・次回のプログラム

9月4日(金)

「会員増強のためのビール会」

会場 釧路ロイヤルイン 11F

担当：親睦活動委員会

・点

鐘

工藤会長

今週の会報担当：長井一広会員